



カナダ国際関係省(Global Affairs Canada)主催

# CANADA INVESTMENT ROADSHOW 2026

## カナダの“今”を知り、次の成長機会を掴む

エネルギー・重要鉱物・AI・先端製造分野で世界的な投資先として注目されているカナダの州政府・投資機関が一堂に会し、日本企業向けに**具体的な投資およびパートナーシップ機会**を紹介します。

### 🌐 カナダが選ばれる理由

豊富な天然資源（重要鉱物・エネルギー）  
安定した政治・法制度  
北米市場へのゲートウェイ  
高度人材・AI研究基盤 など

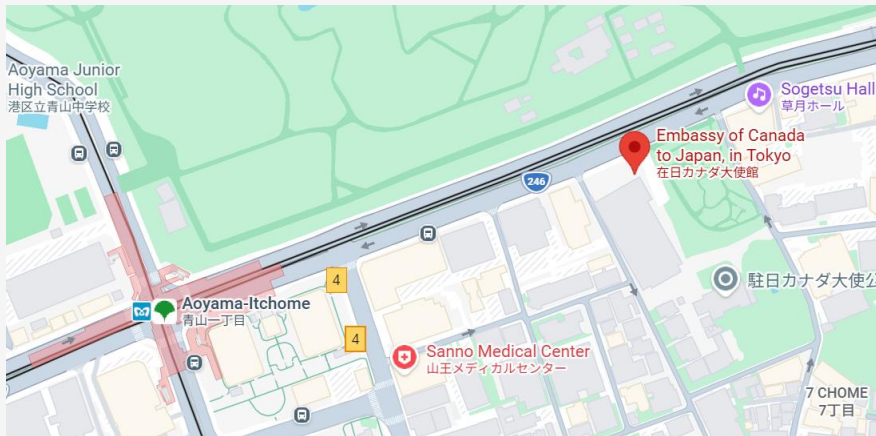
### 🏢 招待企業

製造業  
エネルギー・インフラ企業  
商社  
投資会社  
スタートアップ企業 ほか

### 📅 開催概要

日程：2026年6月2日(火)  
開場：駐日カナダ大使館  
東京都港区赤坂7丁目3-38  
形式：対面・遠隔  
言語：日英対応

### 【カナダ大使館地図】



### 【問い合わせ先】

〒103-0026  
東京都中央区日本橋兜町1-10日証館5階  
ジャパン・ビジネス・ポータル有限責任事業組合  
TEL: 03-5643-3465  
[trade@japanbusinessportal.com](mailto:trade@japanbusinessportal.com)  
(カナダ国際関係省業務受託者)

※入館には事前登録と写真付き身分証明書の提示が必要です。

### ◆ イベントで得られる価値

- ✓ 1. 日本企業向け“厳選された投資案件”  
重要鉱物・バッテリーサプライチェーン  
クリーンエネルギー（LNG・水素・再エネ） など  
AI・データ・先端製造  
→ 日加政府が重点分野として推進
- ✓ 2. 政府・現地機関と直接対話  
州政府・投資誘致機関  
現地プロジェクト責任者  
👉 通常アクセス困難な意思決定層と面談可能
- ✓ 3. 個別マッチング  
事前アレンジ面談あり  
貴社の戦略に合った案件を紹介  
パートナー・JV候補との接点創出
- ✓ 4. 「今」参加すべき理由  
日加包括的戦略パートナーシップの強化  
サプライチェーン再構築で投資機会が急増  
早期参入企業が優位性を確保

# 参加州政府/経済開発機関



## ブリティッシュコロンビア州 British Columbia

### バンクーバー Vancouver

バンクーバーは、水素燃料電池やクリーンエネルギー分野でのイノベーションを世界に先駆けて進めるとともに、ゲーム開発・アニメーション・VFXの北米有数の拠点として、日本のデジタルコンテンツ企業にとって理想的なパートナーです。また、ライフサイエンス、フィンテック、アグリテックなどに強みを持つAI・サイバーセキュリティのエコシステムが急成長しており、革新的な技術をもつ日本企業の北米展開を強力にサポートします。

### サレー Surrey

サレー市は、カナダで唯一「都市開発と農地保全が両立」する立地で、垂直農法が認められており、アグリテックや植物性タンパク質分野の日本企業の北米進出をサポートします。メトロ・バンクーバー圏内に位置し、多数の農場・食品加工業者・カナダ最長の港湾へのアクセスと強力な研究機関を有しています。また先端製造では9万3千人以上の専門職と950社以上の企業が集積し、98%再生可能エネルギーによる安価な電力やボーイング本社への近接性も強みです。インダストリー4.0技術の集積地として、日本企業の北米市場開拓をトータルでサポートします。

## アルバータ州 Alberta

アルバータ州は、世界第3位の石油埋蔵量と安定した投資環境を誇り、複雑な貯留層や重油分野における高度な技術人材と統合インフラを有しており、エネルギー分野での長期的な事業をお考えの日本企業に最適です。また、同州はカナダのエネルギーシステムのテストベッドとして、規制緩和された電力市場のもと、風力・太陽光とガス火力を組み合わせたクリーンエネルギー導入をリードし、石油・ガスから水素への労働力移行も進んでいます。エネルギー貯蔵・水素処理などの機器サプライヤーやOEMとの研究開発連携など、北米市場向け事業をサポートする投資機会を提供しています。

## カルガリー Calgary

カルガリーは、トヨタ自動車、日産自動車、三菱商事、三菱重工など、多くの日本企業が進出するカナダ有数の経済拠点です。農業、エネルギー、航空宇宙、ライフサイエンス、テクノロジーの各分野で強みを持ち、特にCCUS・水素・再生可能エネルギー、MRO施設、カナダ最大のがんセンター、そして北米で最も急速に拡大するテック人材市場など、日本企業の北米展開を多角的にサポートする環境が整っています。

## レスブリッジ Lethbridge

レスブリッジは、90万エーカーの灌漑農地を活かしたカナダ最大の食品回廊の中心地であり、食品加工や植物性タンパク質分野での北米展開を検討されている日本企業にとって理想的な立地です。また、VR/AR、アグリテック、ゲーミングに強みを持つ、成長を続けるテクノロジーハブであり、レスブリッジ大学やユニークなデータセンターなどの研究インフラが整っています。さらに、農機具や金属加工など多様な製造業が集積し、コスト競争力と物流アクセスの両立を求める日本企業をサポートします。

## サスカチュワン州 Saskatchewan

サスカチュワン州は、世界最大のカリ・高品位ウラン埋蔵量、カナダ最大のヘリウム生産、北米初のレアアース加工施設を誇る「重要鉱物の一大州」です。エネルギー分野ではカナダ第2位の原油生産量と世界最大のCCUSプロジェクトを有し、農業分野ではカナダ農地の40%以上と複数作物の世界最大輸出量を誇ります。エネルギー・資源・農業分野での安定供給と北米展開を目指す日本企業にとって、理想的なパートナーです。

## サスカトーン Saskatoon

サスカトーンは、サスカチュワン州の農業生産の中心地であり、「研究から食卓まで」をワンストップで支援する世界クラスのバイオサイエンス・クラスターを有しています。また、世界最大級のカリ・ウラン鉱山企業を含む20社の鉱業本社が集積し、北米初のレアアース加工施設との連携も可能です。食品・バイオ関連および重要鉱物分野での北米展開を目指す日本企業にとって、理想的な立地です。

## マニトバ州 Manitoba

### ウィニペグ Winnipeg

ウィニペグは、ほぼ100%再生可能エネルギー、北米市場への優れたアクセス、熟練労働力を兼ね備えた低炭素でコスト競争力の高い製造立地であり、エネルギー集約型製造や精密製造を検討されている日本企業にとって特に魅力的な選択肢です。また、一次生産から大規模加工、食品イノベーションまでを一貫して支援する環境が整っており、高品質な農業原料と先進的な加工技術を活かした事業展開が可能です。さらに、クリエイティブ産業では、充実した制作インセンティブと経験豊富な人材に支えられた低コストでの高品質なデジタル・ゲーム・映画制作を実現しており、エンターテインメント分野での北米進出をお考えの日本企業にとって理想的なパートナーです。

## オンタリオ州 Ontario

オンタリオ州は、EV部品からバッテリーサプライチェーンまで世界級の自動車エコシステムを有し、北米進出を目指す日本企業にとって理想的な立地です。また、オタワ・トロント・ウォーターロー回廊は世界有数のAIクラスターであり、ライフサイエンス分野では北米有数のバイオテック・製薬クラスターを有しています。自動車、AI、医療・ヘルスケア分野での北米展開をお考えの日本企業に、グローバルな競争優位性を提供します。

## ヴォーン Vaughan

ヴォーン市は、カナダ平均の約2倍の自動車企業が集積する先端製造の中心地です。また、「ファーム・トゥ・フォーク」を実現する農産食品加工分野では、ヨーク地域の食品加工業者の約半数が集積し、北米最大の食品・飲料セクターの中心地として高い競争力を有します。さらに、カナダ初のスマートホスピタルを擁するヘルステック分野でも世界クラスの医療イノベーション環境が整っており、自動車、食品、ヘルスケア関連の日本企業の北米展開をトータルでサポートします。

## ダーラム Durham

ダーラム地域は、原子力、水素、再生可能エネルギー、エネルギー貯蔵における世界クラスのエコシステムを備えたクリーンエネルギーの最前線であり、次世代モビリティ分野でもカナダをリードしています。また、ライフサイエンス分野では医療研究・医薬品製造・ヘルステクノロジーの拠点として成長し、半導体・電子部品分野のハブとしても台頭しています。低い事業費と競争力のある税制による大幅なコスト削減を実現しており、クリーンエネルギーや先端技術分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、戦略的なパートナーとなるでしょう。

## ハミルトン Hamilton

ハミルトンは、先端材料、自動車、鉄鋼、オートメーションに強みを持つカナダ有数の製造業センターです。グレートトロント～米国製造回廊へのアクセス、高度な技術人材、マルチモーダル物流を活かした北米展開を目指す日本企業にとって理想的な立地です。また、マクマスター大学や主要研究病院に支えられたライフサイエンス、コールドチェーン対応可能な食品加工分野でも強みを有しています。これらの特性は、医療技術や食品関連分野での北米進出をお考えの日本企業にとって、大きな競争優位性となります。

## バリー Barrie

バリー市は、グレートトロントエリアと北オンタリオの資源回廊の間に位置し、ハイウェイや国際空港へのアクセスに優れた戦略的な立地です。ジョージアンカレッジなどからの熟練労働力と競争力のある人件費を背景に、ロボット工学やオートメーション分野での北米進出を目指す日本企業にとって魅力的な環境です。またライフサイエンス分野では、医療機器メーカーとデジタルヘルス・AI企業が共存するコスト効率の良いエコシステムを提供しています。さらにICT分野では、データサイエンス人材へのアクセスと高い人材定着率を兼ね備えており、先端技術をお持ちの日本企業の北米市場開拓をサポートします。

## ミシサガ Mississauga

ミシサガ市は、2051年までに人口100万人に達する見込みのカナダで最も急速に成長している都市の一つであり、1,500社以上の多国籍企業が立地するグローバルビジネスのハブです。カナダ最大のトロント・ピアソン国際空港を擁し、戦略的な立地、優れた物流インフラ、豊富な人材プールを活かした北米展開を検討されている日本企業にとって理想的な拠点です。特筆すべきは、三菱重工業、三菱自動車、デンソーなど、カナダ国内で最多となる約100社の日本企業が集積している点であり、日本企業は充実した日系ビジネスコミュニティを活用しながら北米市場での事業拡大を進めることができます。

## ピーターボロー Peterborough

ピーターボローは、原子力燃料製造から先進炉サプライチェーンまでを網羅する希少な原子力製造拠点です。BWXTやウエスチングハウスなどのグローバルリーダーがオンタリオ州の原子炉群を支える長期的な生産活動を行っており、原子力分野での北米事業拡大を検討されている日本企業にとって信頼できるパートナーです。また航空宇宙・防衛分野では高信頼性エレクトロニクスを核とする能力を有し、クリーンテック分野では研究から商業化までを支援するエコシステムが構築されています。これらの特性により、ピーターボローは原子力、防衛・航空宇宙、クリーンテクノロジーの各分野において、熟練労働力と北米市場アクセスを兼ね備えたコスト競争力の高い製造立地です。

## サーニア・ラムトン Sarnia-Lambton

サーニア・ラムトン地域は、カナダ第2位の化学品・製油所クラスターを擁し、多くの多国籍企業が12本のパイプラインを活用して事業を展開しています。また、世界最大のエタノール工場などを有するハイブリッド化学クラスターを形成し、循環経済やバイオベース技術の開発・商業化においてカナダをリードしています。さらに、「オンタリオ州の水素ハブ」として低炭素水素産業の投資も受け入れており、多様な製造業も発展しています。これらの特性は、化学品、バイオテクノロジー、水素エネルギー、先端製造分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、戦略的なパートナーです。

## トロント Toronto

トロントは北米で最大かつ最も急成長している大都市圏の一つであり、カナダの経済の中心地です。カナダ最大、北米第3位のテックハブとして、AI人材では北米第1位を誇り、世界クラスの大学から輩出される高度な人材プールを有しており、先端技術をお持ちの日本企業にとって理想的な進出先です。また、ニューヨーク、シカゴ、ボストン、ワシントンDCから90分以内という戦略的な立地、信頼性の高い通信・交通インフラ、ビジネスに適した環境に加え、200以上の言語が話される多文化性と高い生活の質も大きな魅力です。これらの特性により、トロントは北米有数のテクノロジーとイノベーションの中心地として国際的に認められており、日本企業の皆様の北米市場開拓を強力にサポートします。

## オタワ Ottawa

オタワは、NokiaやCiscoなどが立地し、カナダの産業用電気通信研究の90%を担う世界有数の通信イノベーションハブです。また、カナダの半導体設計の中心地として、TSMCやInfineonなどのグローバルリーダーが先端設計センターを置き、国立研究評議会の強力な研究開発施設に支えられています。さらに航空宇宙・防衛分野では、G7の首都として国防総省やロッキード・マーティンなどのフォーチュン500企業、NRC航空宇宙センターへのアクセスという世界クラスの環境を有しています。これらの特性は、電気通信、半導体、航空宇宙・防衛分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、戦略的で信頼性の高いパートナーです。

## レスブリッジ Lethbridge

レスブリッジは、カナダの灌漑農地の70%超を占める「カナダ最高の食品回廊」の中心地で、過去6年間に15億カナダドル超の加工施設投資が行われています。また、VR/ARやゲーミング研究でカナダ有数のテクノロジーハブであり、製造業では4,500人以上の熟練労働者と100社以上の企業が集積し、高い輸出成長率を誇っています。さらに、大規模な風力・太陽光発電も可能です。これらの特性は、アグリフード、先端製造、再生可能エネルギー分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、極めて魅力的な投資先です。

## ナイアガラ Niagara

ナイアガラ地域は、輸送機器や金属加工など多様な製造基盤を有し、17,000人以上を雇用しています。米国国境への近接性と優れた物流網により、ジャストインタイム配送を重視する企業にとって大きな優位性を提供しています。また、競合地域と比較して最大19-28%のコスト削減が可能であり、2024年には旭化成が15.6億カナダドルを投資してリチウムイオン電池セパレーター工場の建設を決定しました。エアバス・ヘリコプターズ、GMカナダ、マグナなどのグローバル企業も立地しており、自動車や先端製造分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、極めて魅力的な投資先です。

## キングストン Kingston

キングストンは、化学技術や冶金、先端材料、重要鉱物・レアアース処理、食品加工、防衛、半導体材料など幅広い分野で持続可能な製造業の集積地として発展しており、DuPontやLi-Cycleなどの企業やクイーンズ大学を中心とした研究機関の支援により、技術開発から商業化までを一貫して支えるエコシステムを有しています。特に、重要鉱物・レアアース処理、細胞・遺伝子治療、先端材料は国際競争力の高い分野であり、パイロットから商業生産へのスケールアップを可能にする環境が整っています。また、トロント・オタワ・モントリオールおよび米国市場へのアクセスの良さや高度人材の供給により、半導体や先端製造、ライフサイエンス分野でも投資を引き付けている。さらに、統合型医療システムや臨床試験基盤を活かし、医療機器やバイオ医薬品分野でもイノベーションが進展しており、産学官連携による成長が続いています。

## ウォータールー Waterloo

ウォータールーは、トロントから車で1時間という好立地に加え、1時間圏内に371,000人の労働力と1,400社以上の製造企業を有し、カナダ最大のロボティクス・オートメーションクラスターを誇ります。また、北米第2位のテック回廊の一部であり、カナダ最大の工学部から高度な人材を活用でき、フィンテック、AI、量子、ヘルステックなど多様な分野で競争力のあるエコシステムを形成しています。特に、過去5年間毎年10%のテック人材成長率、ニューヨーク市の半分の人材コスト、平均勤続年数3.5年以上というソフトウェアエンジニアの高い人材定着率は、北米展開を検討されている日本企業にとって大きな魅力です。

## ケベック州 Quebec

ケベック州は、世界クラスの研究人材と技術インフラを有する北米有数のライフサイエンスハブであり、GSK、メルク、ファイザーなどのグローバル企業が集積しています。また、世界最大級の水力発電地域（北米最低の電力料金）、カナダの黒鉛埋蔵量の79%・リチウムの81%を占める重要鉱物、そして世界第3位の航空宇宙ハブ（カナダの航空宇宙R&Dの75%を集積）としても知られています。さらに、MILAやScale AIなどの世界有数のAI研究機関に加え、量子コンピューティングや光学・フォトニクスでもカナダをリードするエコシステムを形成しています。これらの特性は、ライフサイエンス、エネルギー、資源、航空宇宙、デジタル技術分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、極めて魅力的な投資先です。

## モントリオール Montreal

グレーター・モントリオールは、世界クラスの研究病院や大学、最先端のAIを兼ね備えた、北米で最もダイナミックなライフサイエンス・エコシステムの一つです。また、スマート製造・ロボティクスの中心地であり、Milaなどの世界的に有名な研究機関とカナダ最大級のAI研究者集積を誇る世界有数のAIハブでもあります。加えて航空宇宙分野では、世界トップ3の航空宇宙都市として、OEMから試験・認証施設までが集積し、次世代航空機技術の開発・商業化において比類のない環境を有しています。これらの特性は、ライフサイエンス、AI、ロボティクス、航空宇宙分野での北米展開をお考えの日本企業にとって、極めて魅力的な投資先です。

## ケベックシティ Quebec City

ケベックシティ地域は、GSKやBDなどのバイオアプリケーション企業とカナダ最大級の感染症研究センターを擁し、バイオ関連の北米展開をお考えの日本企業にとって魅力的な環境です。また、カナダ最大のディーズ造船所を基盤とした海事・造船分野、そしてラバル大学のCOPLやカナダ最大のINOを中心とした光学・フォトニクスの世界クラスのハブとしても知られています。さらに情報技術分野では、29,500人以上のAI専門家、他都市比で30%安い研究開発コスト、そして国防省最大級のR&Dセンター（1.44億カナダドルの投資で近代化中）を有しています。これらの特性により、ライフサイエンス、海洋技術、光学・フォトニクス、AI・サイバーセキュリティ分野での北米展開をお考えの日本企業にとって魅力的な戦略的なパートナーです。

## ニューブランズウィック州 New Brunswick

ニューブランズウィック州は、産業用即応用地、競争力のある事業コスト、熟練労働力を備えた先端製造クラスターを有し、北米での製造・流通事業の設立を目指す日本企業にとって理想的な環境です。また、確立されたサイバーエコシステムを活かしたサイバーセキュリティ/ICTクラスター、そしてエネルギー転換の強い勢いと港湾アクセスを活かしたグリーンエネルギー・水素クラスターも強みです。これらの特性は、先端製造、サイバーセキュリティ、グリーンエネルギー分野での北米進出をお考えの日本企業にとって、極めて魅力的な投資先です。

## プリンスエドワードアイランド州 Prince Edward Island (PEI)

プリンスエドワードアイランド州は、2040年までのネットゼロ達成を誓約し、州内電力の約30%を再生可能エネルギーから調達するなどクリーンテクノロジー開発に積極的で、グリーン水素やバッテリー開発分野での協力を求めており、グリーンエネルギー技術をお持ちの日本企業にとって魅力的なパートナーです。またバイオサイエンス分野では、セキスイダイアグノスティクス（日本）などが成功を収めており、ワクチンや診断薬の研究開発・生産拠点を探す日本企業との連携を希望しています。さらに情報技術分野では、米国比で人件費25%減、オフィススペース30%減というニアショア拠点としての優位性があり、シェアードサービス拠点を求める日本企業にとって競争力のある投資先です。

## サマーサイド Summerside

サマーサイド市は、ターンキーインフラや再生可能エネルギー資産を備えたエコシステムを提供し、20年以上のイノベーション実績を活かして日本企業の市場参入をサポートします。同市が競争力を持つ3つの分野は、航空宇宙（MRO・訓練）では30年以上のクラスター開発実績とコスト効率の高い施設・人材、クリーンテクノロジーでは70%再生可能エネルギーの市営公益事業と「リビングラボ」による実環境でのテスト・検証、先端製造では精密製造やパッシブ認証されたグリーン施設などです。これらの特性は、効率性と革新性を求める日本企業にとって極めて魅力的です。

## ノバスコシア州 Nova Scotia

### ハリファックス Halifax

ハリファックスは、カナダのオーシャン・スーパークラスターの中心地であり、COVEを核とする「リビングラボ」で海洋ロボティクスなどの先端技術開発が行われており、海洋技術分野での北米展開をお考えの日本企業にとって理想的な拠点です。また、カナダ海軍大西洋艦隊の本拠地として国家造船戦略の主要ハブであり、NATO DIANA地域オフィスもホストするなど、デュアルユース技術の世界的な誘引力となっています。さらに金融サービス分野では、カナダで最も成長の速いニアショア金融ハブであり、MUFYGやカナダ5大銀行などの地域本社が集積しています。これらの特性は、海洋技術、防衛・航空宇宙、金融サービス分野での北米進出を検討されている日本企業にとって、極めて戦略的な投資先です。

## ニューファンドランド・ラブラドル州 Newfoundland and Labrador

### セントジョンズ St. John's

セントジョンズ地域はカナダ有数のオーシャンテクノロジークラスターであり、厳しい海洋環境下で実証済みのソリューションを有しており、海洋技術分野での北米展開をお考えの日本企業にとって理想的な試験・開発拠点です。また、ほぼ水力発電で賄われるグリーンエネルギー基盤を活かし、風力から水素への大規模プロジェクトを含むグリーンエネルギー投資のための稀有なプラットフォームを提供しています。さらに、オフショアエネルギー産業で培われたエンジニアリング人材は防衛や産業ICT分野への転用が可能です。まだ日系企業の進出は限定的であり、寒冷海洋試験環境と北米の足がかりを求める日本企業にとって、明確なファーストムーバー優位性のある投資先です。